

授業科目	観光社会学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	劉 明						
授業概要	本講義では、観光社会学が観光を捉える視点や方法を説明し、研究対象の新しい観光と多様化する観光形態を現代社会の動向に絡めて紹介する。また、観光社会学の事例研究の成果を解説する。毎回、資料を配布し、授業を行う。また、質問をしていただき、学生達の関心あることについて、話をする。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。 授業の感想や提案などを学生に書いてもらい、学生との交流を図る。学生の書いたコメントを読んで評価する。また、参考になるものを次回の授業にて紹介する。						
授業形態	対面授業			授業方法	Google フォームを利用して理解度を測る。		

## 学生が達成すべき行動目標

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光社会学が観光を捉える視点や方法を理解できている。</li><li>・現代社会の動向から新しい観光、多様化する觀光形態を理解できている。</li><li>・観光社会学の事例研究の成果を理解できている。</li></ul>
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光社会学が観光を捉える視点や方法を充分に理解できている。</li><li>・現代社会の動向から新しい観光、多様化する觀光形態を充分に理解できている。</li><li>・観光社会学の事例研究の成果を充分に理解できている。</li></ul>

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	0	
その他	20%	意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

第1回	・ガイダンス 社会学と観光等
第2回	・観光と社会学 観光社会学の現状と課題
第3回	・観光と社会学 現代観光の理論と実践
第4回	・観光と社会学 社会現象としての観光の構造と変遷
第5回	・新しい観光について 持続可能な観光の模索と実践
第6回	・新しい観光について 多様化する観光
第7回	・観光社会学について 観光社会学の領域
第8回	・観光社会学について 隣接する学問領域
第9回	・観光社会学について 観光施設の社会性
第10回	・観光文化と文化観光 観光の文化装置
第11回	・観光文化と文化観光 観光社会学の舞台－九州・沖縄
第12回	・観光文化と文化観光 観光社会学の舞台－京都
第13回	・観光文化と文化観光 観光社会学の舞台－上海
第14回	学生による発表（1）
第15回	学生による発表（2）
テキスト	資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・安村克己、堀野正人、遠藤英樹、寺岡伸悟編著（2011）『よくわかる観光社会学』、ミネルヴァ書房 ・須藤廣（2008）『観光化する社会—観光社会学の理論と応用』、ナカニシヤ出版 ・須藤 廣・遠藤英樹（2018）『観光社会学 2.0－拡がりゆくツーリズム研究』?福村出版
課題に対するフィードバックの方法	「成績講評」を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	日頃より新聞やインターネットなどで国内外の社会時事や観光の動向を把握しておくこと。 この科目での学びを通じて観光の現象を見る目を涵養し、ぜひさまざまな観光を実際に体験してください。